

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆10～12月期GDP、実質1.32%増 日経センター2月調査

・日本経済研究センターがまとめた民間エコノミストの経済見通し「ESPフォーキャスト調査」によると、2024年10～12月期のGDPの予測平均は前期比年率で1.32%増。設備投資が上振れ、1月の前回調査から0.12ポイント上方修正。個人消費の予測平均は0.05%減とマイナスに転じた。設備投資0.84%増、輸出0.53%増、輸入0.88%減。

◆銀行の新規貸出金利、12年ぶり高水準 日銀の利上げ反映

・日銀が発表した2024年12月の貸出約定平均金利によると、国内銀行の新規貸し出しの平均金利は1.132%。13年4月以来、約12年ぶりの高水準。1年未満の短期の新規貸し出し金利の伸びが目立った。短期の新規貸し出しで、24年12月は都市銀行が11月の0.495%から0.668%、地銀は11月の0.574%から1.054%にそれぞれ上昇。

◆高額療養費上げ「25年度から実施を」 保険者団体が要望

・健康保険組合連合会(健保連)など公的医療保険の関係団体は「高額療養費制度」を巡り厚生労働省幹部と面会。団体側は患者負担限度額の引き上げを当初予定通り2025年度から実施するよう要望。現役世代の保険料負担は限界を迎えており、同制度の見直しが保険料負担の軽減につながると主張した。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆住宅省エネキャンペーンへの継続参加、2月20日までに申告必要

・国土交通省、経済産業省、環境省の3省が合同で実施する住宅省エネキャンペーンに、2025年度も継続して参加を希望する事業者は、その旨を住宅省エネポータルで申告することが必要になる。事務局が2024年度キャンペーンのウェブサイトを発表。申告期限は2月20日18時。継続参加の希望を自ら申告することとした。

◆分譲マンション賃料、東京23区2カ月連続上昇 最高値迫る

・不動産調査会社の東京カンテイが発表した1月の分譲マンション賃料は、東京23区が前月比0.9%高の1平方メートル当たり4332円となり、2カ月連続で上昇した。春の引っ越しシーズンを迎えての需要の強さを背景に賃料の引き上げが進んでおり、東京23区の価格水準は2024年6月の最高値に迫っている。

◆【総展来場者分析】若年層の平均予算が最も高く 予算増えるほど来場回数も増加

・住宅生産振興財団と住宅展示場協議会は総合住宅展示場来場者アンケートの2024年度調査報告書をまとめた。平均予算が初めて3000万円の大台を突破し、3028万円に達した。特に若年層(34歳以下)、中年層の上昇幅が大きい。35～49歳の中年層の来場者は減少傾向が続く一方、50歳以上の熟年層は増加が続く。

《 注目商品 》

■LIXIL、「洗面空間の当たり前を変えていく」2025年春の洗面新製品

・最適な動線により洗濯家事の効率を上げるランドリー空間「ランドリープラス」と、デザインだけでなく機能も重視したいこだわり派の理想を叶える造作風カウンター洗面「カスタムバニティ」を4月1日に発売。“ダブルトライアングル”をひと部屋で完結。



■SANEI 「mitos stop(ミトスストップ)」一時ストップ機能を搭載

・毛穴の100分の1未満の小さな泡「ウルトラファインバブル」を発生し、汚れをやさしくきれいに洗い流すシャワーヘッド「mitos」に、一時ストップ機能を搭載。シャンプーの途中や浴室掃除のときに手元でシャワーを停止できる。ストップ機能併用で約45%の節水・節ガス。



■三協アルミ、2回分の荷物が受け取れる機能ポール

・宅配ボックスを2つ装備したスチール製の機能ポール「フレムスGrand」を発売。大型100サイズ(高さ・幅・奥行き)の長さの合計が100cm以内)のダンボール箱に対応した宅配ボックスを2つ装備し、2回分の置き配に対応。ノイズレスデザインの二重扉を採用。

